

いどばた

第32(最終)号

気仙沼
コミュニティ
ペーパー

発行
2015年
3月20日

今回のいどばたには、こんな内容が掲載されています。

★ 踏み出す一歩・・・

★ はまらいんプロジェクト

～子供の笑顔を咲かせよう～

★ きのっぴのつぶやき・・・

★ 伝えたい

★ KRA福祉部からのお知らせ

踏み出す一歩...

気仙沼市内で震災による行方不明者は未だ225名おり、今も警察やボランティアなどの協力によって懸命な捜索が行われています。



気仙沼市内では追悼式典や追悼イベントなどが1日を通し、今年も行われました。気仙沼市総合体育館では【平成27年 気仙沼市東日本大震災追悼式】が地震が起きた時刻に厳かな空気の中で執り行われました。4年という月日が経ち家族や友人を亡くした辛さ、痛みは震災当時と変わらないと同時に、辛さを乗り越え一歩を踏み出し前に進む決心を垣間見る式典でした。



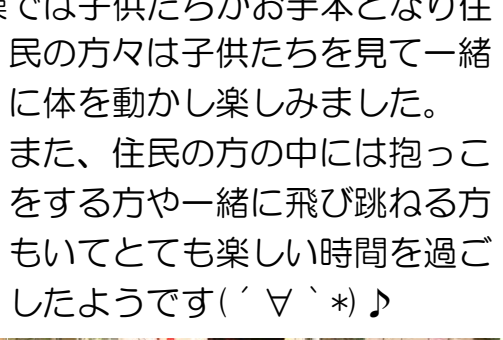
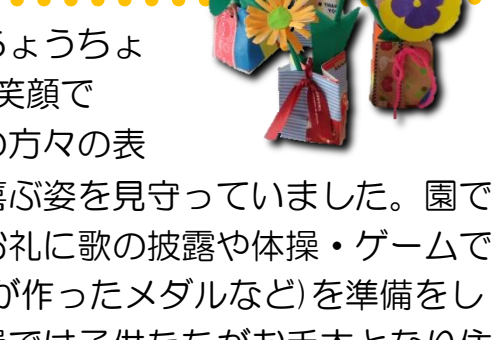
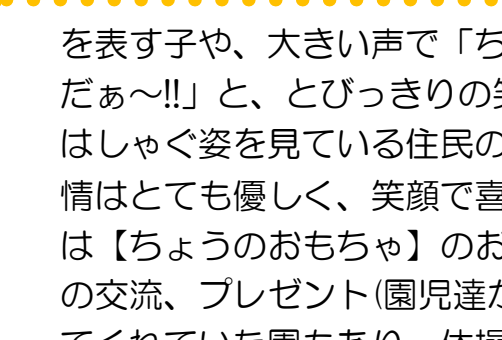
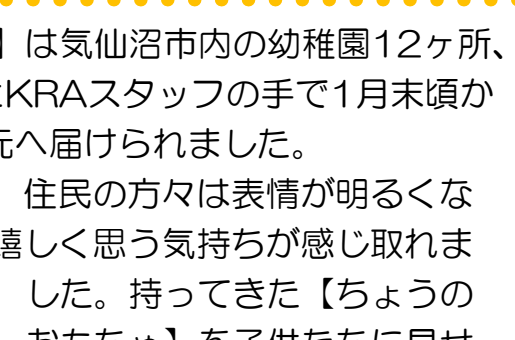
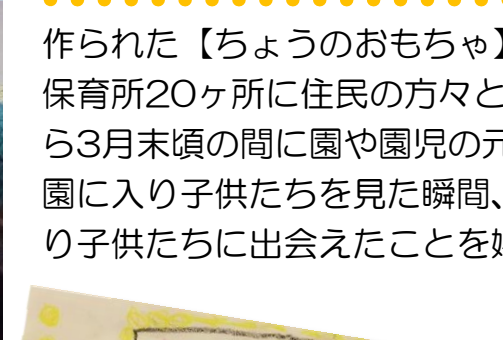
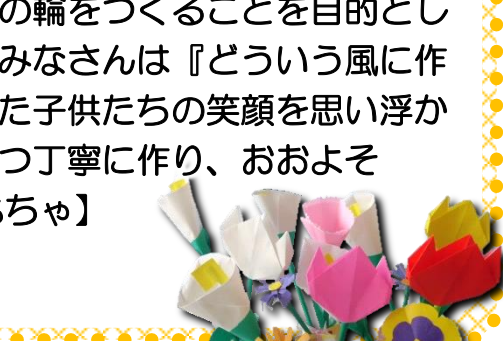
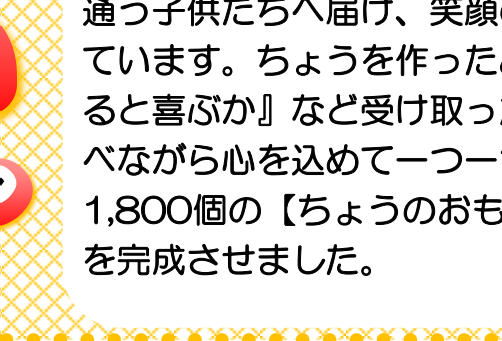
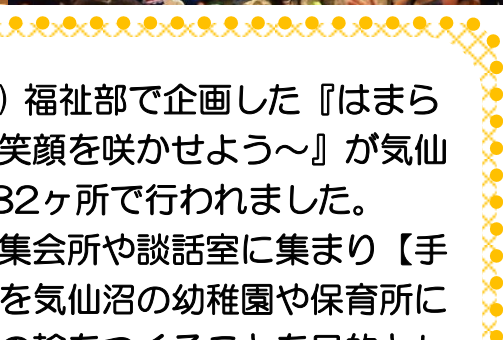
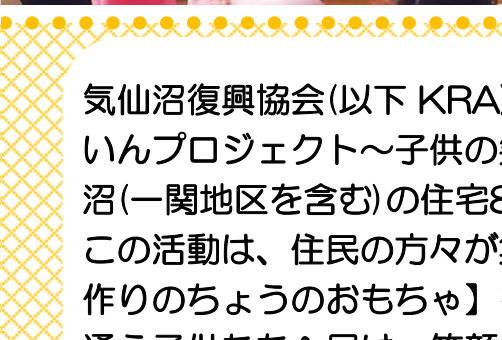
また、気仙沼復興協会(以下KRA)ボランティア受入部で毎月行われている集中捜索にKRA福祉部から数名が市民として2月と3月に参加しました。2月11日(水)は【松崎尾崎(千岩田海岸)】を県内外のボランティア(リピーターを含め)



57名、気仙沼市民16名、総数73名が参加し、命日の3月11日(水)は【小泉海岸】を県内外のボランティア(リピーターを含む)69名、気仙沼市民58名(内 小泉地区振興会31名)、総数127名で集中捜索が行われました。午前10:00に1分間の黙祷を捧げた後、4班に分かれ風が強く雪が降る中、行方不明者に関する手がかりがないか一箇所一箇所を丁寧に捜索しました。皆さん石などをどけ、熊手で砂をかき分け懸命に探す姿は“早く見つけてあげたい”“家族に還したい”という気持ちの現れだったと感じ取れました。今後も月命日に集中捜索を予定していますが、引き続き皆様の協力を必要としています。

KRA ボランティア受入部 080-1661-1804





はまらいん プロジェクト ～子供の笑顔を咲かせよう～

作られた【ちょうのおもちゃ】は気仙沼市内の幼稚園12ヶ所、保育所20ヶ所に住民の方々とKRAスタッフの手で1月末頃から3月末頃の間、園や園児の元へ届けられました。

園に入り子供たちを見た瞬間、住民の方々は表情が明るくなり子供たちに出会えたことを嬉しく思う気持ちが感じ取れました。持ってきた【ちょうのおもちゃ】を子供たちに見せると「わあ～♪」と驚喜をあげ、手を頬に当て喜び

気仙沼復興協会(以下 KRA) 福祉部で企画した『はまらいんプロジェクト～子供の笑顔を咲かせよう～』が気仙沼(一関地区を含む)の住宅82ヶ所で行われました。この活動は、住民の方々が集会所や談話室に集まり【手作りのちょうのおもちゃ】を気仙沼の幼稚園や保育所に通う子供たちへ届け、笑顔の輪をつくることを目的としています。ちょうを作ったみなさんは『どういう風に作ると喜ぶか』など受け取った子供たちの笑顔を思い浮かべながら心を込めて一つ一つ丁寧に作り、おおよそ1,800個の【ちょうのおもちゃ】を完成させました。

を表す子や、大きい声で「ちょうちょだぁ～!!」と、とびっきりの笑顔ではしゃぐ姿を見ている住民の方々の表情はとても優しく、笑顔で喜び姿を見守っていました。園では【ちょうのおもちゃ】のお礼に歌の披露や体操・ゲームでの交流、プレゼント(園児達が作ったメダルなど)を準備をしていていた園もあり、体操では子供たちがお手本となり住民の方々は子供たちを見て一緒に体を動かし楽しみました。また、住民の方の中には抱っこをする方や一緒に飛び跳ねる方もいてとても楽しい時間を過ごしたようです(´▽`*)♪



鹿折地区

気仙沼地区

面瀬地区

本吉地区

大島地区

新月地区

松岩地区

唐桑地区

気仙沼地区

階上地区

きのっぴです!! 春になると色々な変化でストレスが多くなり、不調が出やすい季節だと以前に紹介しました。ストレッチや軽い運動をすることでもストレス軽減につながりますので、適度に体を動かして気分を上げましょう!!

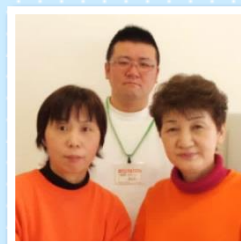


気仙沼・新月地区を担当していた【畠山】
【鈴木】です。仮設でお茶会を始めてから3年以上が経ち、大勢の方と知り合い沢山の思い出ができました。一緒に過ごした時間と皆さんの笑顔は、私たちの宝物です。

どこかでお会いしたときは声をかけてくださいね! 今までお世話になりました。ありがとうございました。お元気で!!



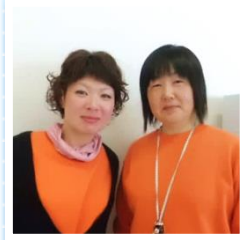
階上・本吉地区を担当していた【菅原】【及川】【畠山】です。各集会所、談話室などでお茶会や様々なイベントを通じ皆さんと過ごした時間は、私共にとっても素晴らしい宝物のような思い出になりました。本当にありがとうございました。これからも、お互い健康に気をつけ笑顔で頑張っていきましょう。



皆様の暮らしの中に、少しでも安らぐ時間や笑顔が増え、健康な毎日を過ごしていけますことを願っています。また、お会いできることを楽しみにしています。(事務局 菅原)

鹿折・唐桑・大島地区を担当していた【佐々木】【木下】です。お茶会ではいつも温かく迎えてくれ、人生経験豊富な皆さんと会話をすると勉強になることが多かったです。それ

以上、私たちが沢山の『笑顔と元気』をもらい、会えることを楽しみにしていました。本当に楽しかったです!! ありがとうございました。



松岩17ヶ所・面瀬7ヶ所・一関2ヶ所、2011年7月から2班から3班になり今の4班体制で活動に入らせて



いただきました【浦口】【梶原】
【菊田】です。3年間沢山の方にお会いできたことが忘れられない思い出になりました。今まで、本当にありがとうございました。

住民の皆さん、長い間ご協力誠にありがとうございました。又、この紙面をお借りしてKRA 福祉部の現スタッフ、卒業スタッフの皆さんお疲れ様でした! (事務長 奥山)

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、(一社)気仙沼復興協会 福祉部は2011年7月4日の立ち上げから、皆様にご愛顧いただいて参りましたが、2015年3月末を持ちまして業務を終了することとなりました。

これまで3年9ヶ月の間、長きにわたり変わらぬお付き合いをいただきまして、誠にありがとうございました。

気仙沼の復興を願うと共に、皆様の今後のご健勝と1日も早く安心した生活が取り戻せるよう心よりお祈り申し上げます。

作成・編集
(一社) 気仙沼復興協会
【KRA】福祉部
気仙沼市赤岩港14-1 2F
TEL 0226-22-6211
FAX 0226-22-6212



KRAってなに??

KRAとは「(一社)気仙沼復興協会」の略です。気仙沼市民の力で気仙沼を復興させることを目的とし、震災による失業者を中心に設立されました。ボランティア受け入れ、仮設の見守り、地域の環境保全、イベント補助などの復興事業を行っています。